

# 公財全高農 農場協会新聞

## 第5号

発行所  
公益財団法人  
全国学校農場協会  
東京都渋谷区  
円山町2-20

### 生徒の出番だ！ 先生も頑張るぞ！

## 特集号

### “生徒の出番だ”

- ・エッセイコンテスト
- ・フォトコンテスト
- ・和牛甲子園

#### 第11回全国農業関係高等学校エッセイコンテスト

第11回エッセイコンテスト  
ト審査会が令和元年12月9日 審査員・公益財団法人  
全国学校農場協会理事長日  
置司明・全国高等学校農場  
協会会長 小堀紀明・日本  
農文学会会長 嶋津治夫  
・全国高等学校農場協会事  
務局長 須賀秀次の厳正な  
審査の結果エッセイコン  
テストの各表彰受賞者が決  
定いたしました。

- ・応募総数 12編
- ・表彰 最優秀賞 1編、  
優秀賞3編、佳作2編が決  
定いたしました。
- ◎最優秀賞  
『兄弟で地域と繋がった新  
しい高原野菜栽培を実践し  
たい』  
長野県佐久平総合技術高等  
学校 3年 小松 大晴
- 優秀賞

『NAMAHA GEダリア  
で秋田は元氣！』  
秋田県立金足農業高等学校  
3年 宮川 莉嘉

○優秀賞  
『気づき』  
栃木県立宇都宮白楊高等学  
校 1年 鈴木 梨花

○優秀賞 『地域興し』  
私達にできること』  
長崎県立諫早農業高等学校  
3年 濱崎 莉未

・佳作  
『高校で学んだこと』  
栃木県立宇都宮白楊高等学  
校 3年 佐藤 美樹

・佳作  
『新しい緑化技術で自然環  
境を守る』  
大阪府立園芸高等学校  
3年 阪上 太洋

#### 最優秀賞作品紹介

『兄弟で地域と繋がった  
新しい高原野菜栽培を実  
践したい』  
長野県佐久平総合技術高等  
学校 食料マネジメント科  
3年 小松 大晴

「兄ちゃん、俺が継ぐから、  
やらなくていいよ」、この  
言葉をきっかけに、私は我

が家の農業を考えるようにな  
りました。

私の家は八ヶ岳連峰最北  
端蓼科山のふもとの長者原  
という地域で年間、白菜3  
万ケース、キャベツ7万ケ  
ース、リーフレタス3千ケ  
ースを出荷している専業農  
家です。曾祖父が始めた野  
菜栽培ですが、現在、父、  
母、祖父、祖母、アルバイ  
ト、外国人研修生を受け入  
れ、栽培しています。

私は幼いときから、家の  
農業を手伝ってきましたが、  
野菜栽培の過酷さは想像を  
絶するほどです。夏場の約  
4ヶ月間は毎日朝4時から  
野菜を収穫し、午前中だけ  
一日千ケース以上の出荷を  
します。午後は苗の植え付  
けを行い、その後消毒や水  
くれなどの作業があり、夜  
9時頃までかかることもあ  
ります。足腰は痛くなり、  
寝る時間もないのが普通で  
す。大変だけどなんとなく  
長男の自分が継ぐ者だと思  
っていた私は弟の言葉に驚  
き「家を継ぐのはそんなに  
簡単じゃねえよ」と言い返  
すと「それは兄ちゃんだつ

て同じじゃねえか」と言わ  
れ、喧嘩に発展しました。  
それを見ていた父親から  
「お前ら二人でやればいい。  
野菜農家の大変さも、やり  
がいもお前たちは分かって  
いると思う、しかし、これ  
からは自分の家だけのこと  
を考えていたのではダメだ。  
地域の関わりや仲間作りが  
大切である。そこをよく考  
えてみる。」と言われまし  
た。

「地域の関わりや仲間づく  
りが大切？」その言葉に疑  
問を持った私でしたが、父  
が青年部で20名の仲間と  
活動していることに気が付  
きました。青年部では共通  
の畑があり、新しい品種や  
肥料の栽培試験を行い、そ  
のたび仲間との意見交換を  
しています。青年部の研究  
が始まったきっかけは父親  
達の苦い経験からでした。  
それは十数年前、黒腐れ病  
で我が家を含め長者原全域の  
キャベツが全滅してしまっ  
たのです。そこで仲間と協  
力して対策試験を始めまし  
た。その父親の姿を見て私  
は自分の家だけではなく地

域全体で問題解決に取り組みなければいけないと考えるようになりました。

そこで私は、長者原地域の問題を考え、改善できることはないか考えました。

我が家や地域の問題点の一つ目は、畑が山ぎわにあるものが多く、そのため山の木のクズや葉が野菜に入ってしまうことがあります。少しでも、木のクズや葉が入ってしまうと商品として扱うことができなくなってしまうと思います。しかし、山は他人の所有物であり、管理をお願いすることはできません。

二つ目は山に生息しているシカなどが畑の野菜を食い荒らすことです。こういった鳥獣被害は電子柵などを用いて工夫をしています。が、そのための費用はかなりの金額になっています。

そして最も大きな問題は人手不足です。我が家を含む高原野菜農家の多くは、家族だけでは経営を継続することはできません。特に若者の農業に対してのイメージは良くない上に、日本

では少子高齢化が問題となり、日本人の労働者は見込めません。そこで外国人に頼るしかないのですが、言葉や文化の違いなど、外国人とのコミュニケーション問題は大きな課題です。

長者原地域でも毎年、日本に馴染めず、相談する仲間もいないため、すぐ嫌になり、帰国してしまう外国人労働者が何人もいます。

この問題を解決するには兄弟喧嘩をしている場合ではないと気づいた私達は、ある夢を描いています。それは、将来弟と一緒に、我が家の野菜栽培をしながら畑の近くの里山を購入して民宿を経営したいと考えています。標高千mの高原地帯で、蓼科山の麓のきれいな空気や水がある長者原で野菜の栽培や収穫体験もでき、地元の食材を食べてもらい、また、自然体験ができる施設を作りたいと考えています。人が山を利用し、整備すれば、畑に木のクズや葉が入ってしまうことも無くなり、シカなどの被害もなくなります。さらにそ

の施設を外国人労働者の寄り所にしたいと考えています。そして将来、各農家で宿泊させている外国人労働者を一カ所に宿泊させる施設にすることも考えています。

私はこの夢の実現のため、高校卒業後は農学部国際系の大学に進学し、留学などの体験を通して語学の習得や海外の野菜作りや経営を勉強したいと考えています。

その話を青年部の方にしたところ「戻ってきた時に一緒に活動するのが楽しみです。」と励ましの言葉をいただきました。

私は将来弟とともに、我が家の野菜作りをしながら、民宿を経営することで、長者原地域から地域と繋がった新しい高原野菜栽培を実践していきます。

**第5回 農業関係高等学校 農業農村フォトコンテスト**

第5回 フォトコンテスト審査会が行われ、最優秀賞他入賞者が決定いたしました。審査員、公益財団法人全国

学校農場協会理事長 日置司明 全国高等学校農場協会会長 小堀紀明 棚田学会会長 山路永司 写真家・棚田学会員 安井一臣

**〔生徒の部〕**

**◎最優秀賞『散歩』**

埼玉県立熊谷農業高等学校 篠田 渉



**◎優秀賞『一生懸命』**

静岡県立田方農業高等学校 成川 翔

**◎優秀賞『スズメ欲びて』**

埼玉県立熊谷農業高等学校 伊藤 理名

**◎優秀賞『ちよっとだけ休憩』**

福島県立田島高等学校 大竹 春歌

**◎優秀賞『響けユーフォニアム』**

埼玉県立熊谷農業高等学校 堀口 絢音

**〔職員の部〕**

**最優秀賞『秋の始まり』**

長野県下高井農林高等学校 小松 和也



**優秀賞『初めてのスパーカー』**

埼玉県立熊谷農業高等学校 野口 昌俊

公益財団法人 全国学校農場協会 編集・発行

**農業学習ノート  
ダイコン・トウモロコシ**

科目「農業と環境」副読本として利用を！  
価格 320円  
(送料・払込料金協会負担)

予約受付中・詳細はHPを



第3回 和牛甲子園 祝優勝 鹿児島県立

市来農芸高等学校

令和2年1月16日・17日に、東京都港区（品川グラウンドホールおよび東京食肉市場）にて17県30校、生徒105名、教師50名、肉牛44頭出品にて、開催されました。審査方法

体験発表会での発表内容を競う取組評価部門の得点（50点満点）と、出品牛の肉質審査で競う枝肉評価部門の得点（50点満点）との合計点数（100点満点）により最優秀賞1校を決定しました

総合評価部門 最優秀賞 鹿児島県立市来農芸高等学校 【初優勝】



取組評価部門 最優秀賞 鹿児島県立

市来農芸高等学校

優秀賞 2校 鹿児島県立鶴翔高等学校 宮城県小牛田農林高等学校 優良賞 3校 神奈川県立中央農業高等学校

広島県立西条農業高等学校 岐阜県立飛騨高山高等学校



枝肉評価部門 最優秀賞

岩手県立水沢農業高等学校

優秀賞 2校

岩手県立水沢農業高等学校 岐阜県立飛騨高山高等学校

優良賞 3校

栃木県立真岡北陵高等学校 広島県立西条農業高等学校

鹿児島県立市来農芸高等学校

取組評価部門 最優秀賞 鹿児島県立市来農芸高等学校



審査委員特別賞

取組評価部門

岐阜県立大垣養老高等学校

枝肉評価部門

栃木県立矢板高等学校

“先生も頑張るぞ”

- ・支部大会
・実験実習講習会
・免許法認定講習会

令和2年度

全国高等学校農場協会支部大会《実施計画》

〔期日・会場・事務局校〕

第24回

北海道支部大会

7月28日(火)～7月29日(水) 北海道グリーンランドホテルサンプラザ

北海道岩見沢農業高等学校

第19回

東北支部大会

8月11日(火)～8月12日(水) アイーナ いわて県民情報交流センター

岩手県立水沢農業高等学校

第69回

関東支部大会

8月18日(火)～8月19日(水) ホテルレイクビュー水戸

茨城県立水戸農業高等学校

第69回

北信越支部大会

8月18日(火)～8月19日(水) 「ホテル信濃路」

長野県佐久平総合技術高等学校 (浅間キャンパス)

第21回

近東支部大会

7月30日(木)～7月31日(金) ホテル伊勢志摩

三重県立四日市農芸高等学校

第67回

中国支部大会

8月20日(木)～8月21日(金) セントパレス倉吉

鳥取県立倉吉農業高等学校

第51回

四国支部大会

8月27日(木)～8月28日(金) 高知会館

高知県立高知農業高等学校

九州支部大会

8月20日(木)～8月21日(金) くまもと森都心プラザ

熊本県立熊本農業高等学校

令和2年度

第64回農業実験実習講習会 《実施計画》受付4月16日(木)～6月16日(火)

〔科目・会場・期間・事務局校・内容〕

北海道地区

「農業と環境」 帯広畜産大学

8月3日(月)～8月7日(金) 北海道帯広農業高等学校

内容「日本農業の課題・スマート農業・HACCP 認証施設等視察」

東北地区

「農業と環境」 秋田県立大学 秋田キャンパス・大潟キャンパス

8月3日(月)～8月7日(金) 秋田県立大曲農業高等学校

内容「農業と大気・土壌環境他」

関東地区

「農業と環境」 千葉科学大学 マリーナキヤンパス大学

8月24日(月)～8月28日(金)  
千葉県立成田西陵高等学校  
内容「水質分析実験・野外  
観察・研究所と企業の見学」  
**北信越地区**

「農業と環境」  
安藤百福記念自然体験活動  
指導者養成センター  
信州大学教育学部付属志賀  
自然教育園

8月3日(月)～8月7日(金)  
長野県佐久平総合技術高等  
学校 浅間キャンパス

内容「SDGsを資する環境教  
育実践・教材研究に関する  
講義・演習他」  
**近東地区**

「農業と環境」  
吉備国際大学南あわじ志知  
キャンパス

8月24日(月)～8月28日(金)  
兵庫県立播磨農業高等学校  
内容「GISを用いた解析実  
習・イネ交配実験・食品加  
工管理の実際他」  
**四国地区**

「農業と環境」  
徳島大学理工学部  
8月17日(月)～8月21日(金)  
徳島県立吉野川高等学校  
内容「育種・バイオマス・  
食と環境他」

**九州地区**

「食品化学・食品製造・微  
生物利用」  
南九州大学

8月17日(月)～8月21日(金)  
宮崎県立宮崎農業高等学校  
内容「食品の安全性・機能  
性」

**免許法(実習助手単位)  
認定講習の開講**

免許法認定講習を本年度  
も実施する予定です。なお、  
開講大学は、北海道酪農学  
園大学と東京農業大学です。  
開講科目・期日・申込受付  
など講習の詳細は五月下旬  
に発表される実施要綱に従  
って下さい。

**農業教育推進に  
向けた諸課題の  
改善要望**

令和元年度要望事項  
《重点要望事項はI》

I 「時代の進展に対応  
した農業教育施設・設  
備の整備のための予算  
措置」の要望  
○時代の進展に対応し

た施設・設備への速や  
かな更新  
○国際競争力を高める  
ために国内外で必要と  
する認証取得を実現す  
るための経費の補助  
○地域創生を目指すた  
めに必要とする先進技  
術の充実を図るための  
施設・設備の導入

II 「農業教育の質的向上に  
必要な条件整備」の要望  
○先進農家や農業法人およ  
び農業関連企業等での教員  
の継続的な研修の推進  
○農業科教員の海外研修の  
機会の拡充

○優れた知識技術を有する  
教職員の確保に向けた対策  
III 「農業を学ぶ高校生に先  
進的農業教育推進」の要望  
○農業・農業関連産業の従  
事者・経営者等の活用に向  
けた予算面での支援の充実  
○農業・農業関連産業の従  
事者・経営者等の活用に向  
けた予算面での支援の充実  
○高校生の海外派遣研修へ  
の機会と予算面での支援の  
拡充  
○農業及び農業教育の理解

**高等学校農業教育にお  
いて緊急に改善すべき  
具体的要望事項の成果**

会長 小堀 紀明

- 1 高等学校農業教育施設  
・設備の改善・充実のた  
めの支援
  - 2 農業関係高等学校の教  
育力向上への支援
  - 3 農業について学ぶ高校  
生の育成に関する支援
  - 4 農業教職員の確保・充  
実と待遇改善の支援
- 十二月の農業教育研究協  
議会では、1について具体  
的な要望として各都道府県  
二校ずつのガラス温室を更

- 新するために必要な予算措  
置として五十一億六百万  
円を要望した。  
○農業教育諸条件の更なる  
充実に向けた継続要望
- 1 産業教育手当の都道府  
県対応
  - 2 実験・実習費の確保
  - 3 一学級当たりの生徒数  
削減
  - 4 農業経営者育成高等学  
校の寮施設の環境改善に  
向けた要望
  - 5 生徒の進路先の確保と  
充実

**農場協会事業部**

機能的で丈夫な実習服・実習靴などを取り扱っております。

代表 鴻巣典子 担当 林 雄一

顧問 海老原孝太郎

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里 5-52-2 TEL. 03-3805-7112  
FAX. 03-3805-1374 y.hayashi@njkk.net